公　告　　第　１　号
令和８年１０月３０日

分任支出負担行為担当官
防衛装備庁艦艇装備研究所
総務課長　北村　優子

公　　告

下記により入札を実施するので、入札及び契約心得（地方調達）（平成３１年４月１日）を熟知の上、参加されたい。

１　入札方式　　一般競争入札

２　入札に付する事項

件　名	規　格	数量	納　地	納　期	摘要
電気の供給（目黒地区・供給地点特定番号03-1011-2000-5016-0502-1025）他１件	仕様書のとおり	１件	防衛装備庁 艦艇装備研究所 （目黒地区）	令和 10 年 3 月 31 日	

説　明　会　　なし

３　入　　札　　①日　時　　令和８年１２月１０日（木）１４時００分
（ただし、郵便による入札は事前に了承を得るものとし、「書留」にて入札期日の前日までに必着するよう当方「分任支出負担行為担当官」あてに送付すること。（初度入札のみ有効））

②場　所　　防衛装備庁艦艇装備研究所（目黒地区）
入札室（庁舎２階）
（東京都目黒区中目黒２－２－１）

４　参加資格　　①　予算決算及び会計令第７０条の規定に該当しない者であること。
なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
②　予算決算及び会計令第７１条の規定に該当しない者であること。
③　令和 07・08・09 年度防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）「物品の販売」の「Ａ」、「Ｂ」又は「Ｃ」等級に格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者。
④　③の等級にかかわらず、防衛省所管契約事務取扱細則第１８条第４項各号のいずれかに該当する者であること。なお、要件に該当する者で入札に参加しようとする者については、令和８年１１月２５日(水)１７時００分までに当該要件を証する書類等を提出すること。
⑤　大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は防衛装備庁長官官房会計官から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
⑥　前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
⑦　都道府県警察から暴力団関係業者として排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者でないこと。
⑧　電気事業法第２条の２の規定に基づき小売電気事業の登録を受けている者であること。
⑨　予算決算及び会計令第７３条の規定に基づき、分任支出負担行為担当官が定める入札参加資格者として、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギーの活用及び再生可能エネルギーの導入並びに電源構成及び二酸化炭素排出係数の情報

の開示に関し、別紙に掲げる入札適合条件を満たすこと。
⑩　仕様書（（仕様書番号_SE-09-1-A1-0001：４（３）イ）、（仕様書番号_7KL0-Z3001：４（３）イ））に関し、令和９年度の電気の供給について、東京都のエネルギー環境計画制度へ報告する旨の誓約書を提出すること。

5　入札方法　　入札書に記載する金額は、各社において設定する契約電力に対する単価（基本料金単価（キロワット単価）、同一月においては単一のものとする）及び使用電力量に対する単価（電力量料金単価（キロワット時単価）、同一月においては単一のものとする）とする。落札の決定は、当所が提示する予定契約電力及び予定使用電力量の対価を入札書に記載した金額に従って計算した総価で行うので、当該総価を上記の単価と併せて記載すること。
なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の１０パーセントに相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、各入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った金額の１００／１１０に相当する金額を入札書に記載すること。
また、入札金額の算定に当たっては、力率割引又は割増、発電費用等に係る燃料価格変動の調整額、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金及び電気・ガス価格激変緩和対策は考慮しないこととする。

6　保 証 金　　①　入札保証金　　免除
②　契約保証金　　免除

7　入札の無効　　４の参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に反した入札又は入札後契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者のした入札は無効とする。

8　契約書作成の必要の有無　　有

9　契約をしようとする基本契約条項等

電気の供給に関する契約条項
談合等の不正行為に関する特約条項
暴力団排除に関する特約条項

10　落札者が正当な理由なく契約を結ばない場合には、落札金額の１００分の５以上の金額を違約金として徴収する。

11　そ　の　他
①電子入札・開札システムの利用
本件は、政府電子調達（ＧＥＰＳ）を利用する案件である。なお、電子入札・開札システムの障害により、入札取りやめ、本公告が変更となる場合がある。
《電子入札による入札書受領期間》
公告日から令和８年１２月９日（水）１７時まで（行政機関の休日を除く）。
また、電子入札・開札システムにより難い者は、担当官の承諾を受けて、紙入札方式に代えるものとする。この場合、令和８年１２月７日（月）１７時までに下記問い合わせ先に「紙入札方式参加承諾願」を提出すること。

②端数処理　　入札書に記載された金額の１１０／１００に相当する金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとし、当該端数金額を切り捨てた後に得られる金額をもって、申込みがあったものとする。

③提出資料　入札に参加しようとする者は、別紙様式に掲げる書類を以下の提出期限までに１部、持参又は「書留」による郵送（必着）により提出しなければならない。

提出期限：令和８年１１月２５日（水）１７時（厳守）
提出場所：〒153-8630　東京都目黒区中目黒 2-2-1
防衛装備庁艦艇装備研究所総務課調達係

なお、防衛装備庁艦艇装備研究所から当該書類に関して説明を求められた場合は、これに応じなければならない。また、提出された書類は防衛装備庁艦艇装備研究所において審査するものとし、４の参加資格に適合していると判断された者のみ入札に参加できるものとする。

④　落札者が中小企業信用保険法第２条第１項に規定する中小企業者である場合は、別に定める「中小企業者に関する質問及び回答」を提出し、「債権譲渡制限特約の部分的解除のための特殊条項」を別途適用する。

⑤　契約締結日までに令和９年度の予算（暫定予算を含む。）が成立しなかった場合は、契約締結日は予算が成立した日以降とする。また、暫定予算となった場合、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする場合がある。

⑥　本書記載事項については艦艇装備研究所総務課調達係に照会のこと。
住　所　東京都目黒区中目黒２－２－１
ＴＥＬ　０３－５７２１－７００５（内線）７０６１

別紙

二酸化炭素排出係数、環境への負荷低減に関する取組の状況に関する条件

1．条件

電源構成及び二酸化炭素排出係数の情報を開示（※）しており、かつ、①令和6年度1kWh当たりの二酸化炭素排出係数、②令和6年度の未利用エネルギー活用状況、 ③令和6年度の再生可能エネルギーの導入状況の３項目に係る数値を以下の表に当てはめた場合の評点の合計が70点以上であること。

要　素	区　分	配点
①　令和6年度1kWhあたりの二酸化炭素排出係数（単位：kg-CO_2/kWh）	0.000　以上　0.375　未満	７０
	0.375　以上　0.400　未満	６５
	0.400　以上　0.425　未満	６０
	0.425　以上　0.450　未満	５５
	0.450　以上　0.475　未満	５０
	0.475　以上　0.500　未満	４５
	0.500　以上　0.525　未満	４０
②　令和6年度の未利用エネルギー活用状況	0.675% 以上	１０
	0%　超　0.675% 未満	5
	活用していない	0
③　令和6年度の再生可能エネルギー導入状況	15.00% 以上	２０
	8.00% 以上　15.00% 未満	１５
	3.00% 以上　8.00% 未満	１０
	0%　超　3.00% 未満	5
	活用していない	0

（注）各用語の定義は、表「各用語の定義」を参照。

※ 経済産業省「電力の小売営業に関する指針」（最新版を参照）に示された電源構成等の算定や開示に関する望ましい方法に準じて実施していること。ただし、新たに電力の供給に参入した小売電気事業者であって、電源構成を開示していない者は、事業開始日から１年間に限って開示予定時期（事業開始日から１年以内に限る）を明示することにより、適切に開示したものとみなす。

2．添付書類等

・ 入札に当たっては、競争参加資格確認関係書類として、１の条件を満たすことを示す書類及びその根拠を示す書類を添付すること。

3．契約期間内における努力等

（1）契約事業者は、契約期間の１年間についても、１の表による評点の合計が70点以上となるように電力を供給するよう努めるものとする。

（2）１の基準を満たして電力供給を行っているかの確認のため、必要に応じ関係書類の提出及び説明を求めることがある。また、契約事業者は、契約期間満了後可能な限り速やかに、１の基準を満たして電力供給を行ったか否か、報告するものとする。

（表）別紙の「各用語の定義」

用　語	定　義
① 令和6年度1kWh当たりの二酸化炭素排出係数	「令和6年度1kWh当たりの二酸化炭素排出係数」は、次の数値とする。 地球温暖化対策推進法に基づき、環境大臣及び経済産業大臣により公表されている令和6年度の二酸化炭素排出係数。なお、メニュー別係数を公表している小売電気事業者等で令和6年度の事業者全体の調整後二酸化炭素排出係数が公表されていない場合は、当該事業者が自ら検証・公表した調整後排出係数を用いることができるものとする。
② 令和6年度の未利用エネルギー活用状況	未利用エネルギーの有効活用の観点から、令和6年度における未利用エネルギーの活用比率を使用する。算出方法は、以下のとおり。 令和6年度の未利用エネルギーによる発電電力量（送電端）（kWh）を令和4年度の供給電力量（需要端（kWh）で除した数値 (算定方式) 令和6年度未利用エネルギーの活用状況（%）＝ $\frac{\text{令和6年度の未利用エネルギーによる発電電力量(送電端)}}{\text{令和6年度の供給電力量(需要端)}} \times 100$ 1．未利用エネルギーによる発電を行う際に、他の化石燃料等の未利用エネルギーに該当しないものと混燃する場合は、以下の方法により未利用エネルギーによる発電量を算出する。 ① 未利用エネルギー及び未利用エネルギーに該当しない化石燃料等の双方の実測による燃焼時の熱量が判明する場合は、発電電力量を熱量により按分する。 ② 未利用エネルギーの実測による燃焼時の熱量が判明しない場合は、未利用エネルギーに該当しない化石燃料等の燃焼時の熱量と当該発電機の効率から未利用エネルギーに該当しない化石燃料等の燃焼に伴う発電量を算出し、当該数値を全体の発電量から除いた分を未利用エネルギーによる発電分とする。 2．未利用エネルギーとは、発電に利用した次に掲げるエネルギー（他社電力購入に係る活用分を含む。ただし、インバランス供給を受けた電力に含まれる未利用エネルギー活用分については含まない。）をいう。 ① 工場等の廃熱または排圧 ② 廃棄物の燃焼に伴い発生する熱（「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（平成23年法律第108号）（以下「FIT法」という。）第二条第４項において定める再生可能エネルギーに該当するものを除く。） ③ 高炉ガスまたは副生ガス 3．令和6年度の未利用エネルギーによる発電電力量には他小売電気事業者への販売分は含まない。 4．令和6年度の供給電力量には他小売電気事業者への販売分は含まない。
③ 令和6年度の再生エネルギーの導入状況	再生可能エネルギーの導入状況は以下の算定式によるもの (算定方式) 令和6年度の再生可能エネルギーの導入状況(%) ＝ $\frac{①+②+③+④+⑤+⑥}{⑦} \times 100$ ① 令和6年度自社施設で発生した再生可能エネルギー電気の利用量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することにより環境価値を有するもの（送電端（kWh）） ② 令和6年度他社より購入した再生可能エネルギー電気の利用量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することにより環境価値を有するもの（送電端（kWh）） ③ 令和6年度自社施設で発生した再生可能エネルギー電気の利用量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することにより環境価値を有するもの（需要端（kWh）） ④ 令和6年度他社より購入した再生可能エネルギー電気の利用量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することにより環境価値を有するもの（需要端（kWh）） ⑤ 令和6年度自社施設で発生した再生可能エネルギー電気の利用量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することにより環境価値を有するもの（需要端（kWh）） ⑥ 令和6年度他社より購入した再生可能エネルギー電気の利用量であって、当該電気に係る非化石証書を自社で無効化（償却）することにより環境価値を有するもの（需要端（kWh）） ⑦ 令和6年度の供給電力量（需要端）（kWh）

	③ グリーンエネルギーCO2 削減相当量認証制度 により所内消費分の電力に由来するものとして認証されたグリーンエネルギーCO2 削減相当量に相当するグリーンエネルギー の電力量（kWh） ④ Jークレジット制度 により認証された再生可能エネルギー電気由来クレジットの電力相当量（kWh） ⑤ 非化石価値取引市場から調達した固定価格買取制度による再生可能エネルギー電気に係る非化石証書の量（kWh） ⑥ 非化石価値取引市場から調達した再生可能エネルギー電気であることが判別できる非FIT非化石証書の量（kWh）（ただし、電源情報等を明らかにするトラッキング実証の対象であり、再生可能エネルギー電気に由来することが判別できる非FIT非化石証書に限る。） ⑦ 令和6年度の供給電力量（需要端（kWh）） 1．再生可能エネルギー電気とは、FIT法第二条第４項に定められる再生可能エネルギー源を用いる発電設備による電気を対象とし、太陽光、風力、水力（30,000kW未満、だたし、揚水発電は含まない）、地熱、バイオマスを用いて発電された電気とする。（ただし、インバランス供給を受けた電力に含まれる再生可能エネルギー電気については含まない。） 2．令和6年度の再生可能エネルギー電気の利用量（①＋②＋③＋④＋⑤＋⑥）は、令和6年度の小売電気事業者の調整後排出係数算定に用いたものに限り、他小売電気事業者への販売分は含まない。 3．令和6年度の供給電力量（⑦）には他小売電気事業者への販売分は含まない。

別紙様式１

令和　　年　　月　　日

分任支出負担行為担当官
防衛装備庁艦艇装備研究所
　総務課長　　北村　優子　　殿

住　　所
会　社　名
代表者氏名
担当者氏名
連　絡　先

「電気の供給（目黒地区）」に係る入札に関する競争参加資格確認書類の提出について

標記の件について、次のとおり提出します。

① 防衛省競争参加資格（全省庁統一参加資格）の資格審査結果通知書の写し
② 電気事業法第２条の２の規定に基づき小売電気事業の登録を受けていることを証明する書類の写し
③ 別紙様式２に掲げる適合証明書（条件を満たすことを証明する書類を添付すること）
④ 別紙様式３及び別紙様式４に掲げる供給する再生可能エネルギー電力及び環境証書の発電施設情報（開示内容に該当する資料を添付すること）

（担当者）
所属部署：
氏　　名：
TEL/FAX：
E-mail　：

別紙様式２

適　合　証　明　書

令和　　年　　月　　日

分任支出負担行為担当官
防衛装備庁艦艇装備研究所
　総務課長　　北村　優子　　殿

住　　所
会　社　名
代表者氏名
担当者氏名
連　絡　先

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

１　電源構成及び二酸化炭素排出係数の情報の開示方法

開　示　方　法	番　号
①ホームページ　　②パンフレット　　③チラシ ①　その他（　　）	

２　令和６年度の状況

	項　　目	自社の基準値	点　数
①	令和６年度1KWh当たりの二酸化炭素排出係数 （単位：kg－CO2／KWh）		
②	令和６年度の未利用エネルギー活用状況		
③	令和６年度の再生可能エネルギー導入状況		

①～③の合計点数	

注１）１の開示は、経済産業省「電力の小売営業に関する指針」（最新版を参照）に示された電源構成等の算定や開示に関する望ましい方法に準じて実施していること。なお、新たに電力の供給に参入した小売電気事業者（事業開始日から１年以内）であって、電源構成の情報を開示していない者は、事業開始日及び開示予定時期（参入日から１年以内に限る）を「番号」欄に記載すること。
注２）２の「自社の基準値」及び「点数」には、別紙により算出した値を記載すること。
注３）１の開示方法（又は事業開始日及び開示予定時期）を明示し、かつ、２の合計点が 70 点以上となった者を本案件の入札適合者とする。
注４）１及び２の条件を満たすことを示す書類を添付すること。

別紙様式３

供給する再生可能エネルギー電気及び環境価値の発電施設情報

令和　　年　　月　　日

住　　所　　○○県○○市○○
会 社 名　　○○株式会社
代表者氏名　　○○　○○

以下、開示内容の下欄①又は②の由来となる発電施設情報を提出し、当該発電施設を設置又は運転する発電事業者が設置又は運転する全ての再生可能エネルギー発電施設において、関係法令の違反がないことを誓約いたします。

開　示　内　容	番　号
①再生可能エネルギー電気・環境価値両方　　②環境価値のみ	

注１）関係法令とは、事業計画策定ガイドラインで示される主な関係法令リストに掲げられる法令をいう。
注２）相対取引等、供給する電気を発電する発電施設が事前に特定できる場合は、①を選択の上、再生可能エネルギー電気及び環境価値の発行元である発電施設情報を別紙様式４を用いて入札時に提出すること。
注３）供給する電気を発電する発電施設が事前に特定できない場合は、②を選択の上、環境価値の発行元である発電施設のトラッキング情報を別紙様式４を用いて入札時に提出すること。
注４）違法でないことを確認する対象としては、事業計画策定ガイドラインで示される主な関係法令リストに掲げられる法令等であるが、地域との共生を図る再エネを推進する観点では、環境省が策定する「太陽光発電における自然環境配慮の手引き」等を参照し、手引きを遵守した発電施設から電気を調達することが望ましい。

別紙様式４－１

令和〇年〇月〇日

特 定 電 源 割 当 誓 約 書

分任支出負担行為担当官
防衛装備庁艦艇装備研究所
総務課長　北村　優子

住　　所　〇〇都、県 〇〇区、市〇〇〇〇〇
会 社 名　株式会社〇〇〇〇
氏　　名　代表取締役　〇〇　〇〇

以下のとおり防衛装備庁艦艇装備研究所（目黒地区）に電力を供給したことを誓約する。
また、供給元電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、防衛装備庁艦艇装備研究所（目黒地区）に移転することをここに証する。

１　お客様情報
お客様番号
需要施設名　　防衛装備庁艦艇装備研究所（目黒地区）
需要施設住所　東京都目黒区中目黒２－２－１
契約電力　　２，２００ｋＷ

２　供給期間
令和９年４月１日　００：００ ～ 令和１０年３月３１日　２４：００

３　再生可能エネルギー由来電力量の情報（発電施設及び環境価値の属性情報は別紙１－１のとおり）

区　　分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	累積
再エネ由来電力量（ｋＷｈ）【A】													
供給電力量（ｋＷｈ）【B】													
再エネ比率（%）　【A／B】													

別紙様式４－２

令和〇年〇月〇日

特 定 電 源 割 当 誓 約 書

契約担当官
陸上自衛隊教育訓練研究本部
会計課長　向井　浩治

住　　所　〇〇都、県 〇〇区、市〇〇〇〇〇
会 社 名　株式会社〇〇〇〇
氏　　名　代表取締役　〇〇　〇〇

以下のとおり陸上自衛隊目黒駐屯地に電力を供給したことを誓約する。
また、供給元電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、陸上自衛隊目黒駐屯地に移転することをここに証する。

１　お客様情報
お客様番号
需要施設名　　陸上自衛隊目黒駐屯地
需要施設住所　東京都目黒区中目黒２－２－１
契約電力　　５９ｋＷ

２　供給期間
令和９年４月１日　００：００ ～ 令和１０年３月３１日　２４：００

３　再生可能エネルギー由来電力量の情報（発電施設及び環境価値の属性情報は別紙１－２のとおり）

区　　分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	累積
再エネ由来電力量（ｋＷｈ）【A】													
供給電力量（ｋＷｈ）【B】													
再エネ比率（%）　【A／B】													

別紙１－１
（防衛装備庁艦艇装備研究所（目黒地区））

発電施設（見込みを含む。）

設備ID	発電事業者名	代表者名	事業者の住所	事業者の電話番号	発電設備区分	発電出力（kWh）	発電設備の所在地
	●●事業者		○○県○○市○○		太陽光		○○県○○市○○
	▲▲事業者		○○府○○市○○		風力		○○県○○市○○

環境価値の属性情報（見込みを含む。）

環境価値の付与に使用した証書の種類	設備ID	発電事業者名	代表者名	事業者の住所	事業者の電話番号	発電設備区分	発電出力（kWh）	発電設備の所在地	環境価値移転量(kWh)
FIT非化石証書（再エネ指定）		●●事業者		○○県○○市○○		太陽光		○○県○○市○○	○○
非FIT非化石証書（再エネ指定）		▲▲事業者		○○府○○市○○		風力		○○県○○市○○	○○
								合計（kWh）	

別紙１－２
（陸上自衛隊目黒駐屯地）

発電施設（見込みを含む。）

設備ID	発電事業者名	代表者名	事業者の住所	事業者の電話番号	発電設備区分	発電出力（kWh）	発電設備の所在地
	●●事業者		○○県○○市○○		太陽光		○○県○○市○○
	▲▲事業者		○○府○○市○○		風力		○○県○○市○○

環境価値の属性情報（見込みを含む。）

環境価値の付与に使用した証書の種類	設備ID	発電事業者名	代表者名	事業者の住所	事業者の電話番号	発電設備区分	発電出力（kWh）	発電設備の所在地	環境価値移転量(kWh)
FIT非化石証書（再エネ指定）		●●事業者		○○県○○市○○		太陽光		○○県○○市○○	○○
非FIT非化石証書（再エネ指定）		▲▲事業者		○○府○○市○○		風力		○○県○○市○○	○○
								合計（kWh）	